

県内社会

編集局 報道部
TEL 0833(266)3211
FAX 0833(266)3358
E yshoudou

山口支社
TEL 0833(922)6546
FAX 0833(923)6548
E yyama

周南支社
TEL 0834(22)0627
FAX 0834(22)0650
E ysunan

鞆支店
TEL 0837(26)1782
E ynaagato

萩支店
TEL 0838(22)6196
E yhaei

宇野支店
TEL 0836(22)0637
E yuube

美祿支店
TEL 0837(52)0818
E ymine

岩国支店
TEL 0827(22)3800
E ywankuni

E-mail: yenshoh@yoh.co.jp

後半のアップダウンが鍵

全国のランナーに愛される久米公園を駆け抜けた「関海ランナーズ」。まさにランナーの心をつかみ、四つのエリアを走り抜けることが最大の目標です。風光明媚なコースでありながら、記録より記憶に残る海響のランナーズを盛り上げる。大会に何より人がメッセージを贈った。



11月3日(土)に開催される「関海ランナーズ2019」はランナー18人が参加し、市民ランナーと共に大会クローカーに携わる「記録より記憶に残る、海響のランナーズ」を盛り上げる。大会に何より人がメッセージを贈った。

ランナーズはランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートする



千葉真子さん

ランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートするランナーズはランナーズをサポートする

ランナーからのメッセージ



上関原発建設計画に反対の声を上げながらデモ行進する参加者=19日、上関町

上関原発 白紙撤回を

地元で250人県民集会

中国電力が上関原発の建設を計画する上関町で19日、反原発一県民集会が開かれ、県内外から参加した約250人が計画の白紙撤回を訴えるデモ行進した。

原発に反対する上関町民の会など9団体が主催した。7月に県が申請に対し建設予定地の海を埋め立てるために必要な公有水面専断立免許の再発給を許可してから地元の規模など未だ開かれるのは初めて。

同町妻地区の町総合文化センターで集会があり、同会の上嶋善夫会長は「自然を破壊するような原発建設はわれわれの生活に必要ない。原発が口を自損して壊れたい」と訴えた。最後に参加者全員で「上関原発白紙撤回」「上関の美しい自然を未来に残そう」とのメッセージを採択した。

参加者は集会の後、旗断幕や旗を手手に「上関原発はいらないぞ」「命の海を守るぞ」とシールとメッセージを上げながら同地区へデモ行進した。(寺田昌行)

永源山公園 浮かぶラン



夜空に浮かぶ約200個のランラン灯は、静寂な雰囲気を楽しみながら19日、周南市

安全運転サポート車 疑似体感

県総合交通センターで高齢者対象に教室

高齢者を対象とした参加者体験型の交通安全教室が19日、山口県小郡下郷の県総合交通センターであり、約70人が参加した。

県警が高齢者の交通事故防止を目的に開いた。参加者は車の運転に必要な身体機能が確認できる機器を体験したり、県警の担当者から

運転免許を取る際の注意点を学ぶなどした。安全運転サポート車の有無を疑似体感できるVRシミュレーターもあり、車や歩行者に対して衝突被害を軽減し、歩行者の安全に作用するかを体験した。

光市小島防の団体職員、道垣本俊秀さん(88)は、

「老老老などにより危険な状況に陥ることを再認識した。特に夜間の運転には注意し、被害者にならないよう」と話した。

県警交通安全企画によるこの県内で今年に入つて18日までに交通事故死が4人が死し、うち2人が65歳以上の高齢者だった。(浅井康介)



VRシミュレーターで衝突被害軽減ブレーキの作用を体験する参加者=19日、山口市

今週のイベント

18日(日) トラクタコンソーシアム(2教を兼ねた)のシンポジウム

19日(月) 釣り大会

20日(火) 釣り大会

21日(水) 釣り大会

22日(木) 釣り大会

23日(金) 釣り大会

24日(土) 釣り大会

25日(日) 釣り大会

26日(月) 釣り大会

27日(火) 釣り大会

28日(水) 釣り大会

29日(木) 釣り大会

30日(金) 釣り大会

31日(土) 釣り大会